

授業科目 緩和ケア看護学

【担当教員名】 手島 美子		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		◎	○		
【概要・一般目標：G10】 緩和ケアの理念・症状マネジメントの概念を理解しターミナル期にある対象に必要な援助法について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 緩和ケアの理念とターミナル期にある患者のトータルペインについて理解する。 2. ターミナル期にある患者の身体的症状、精神的症状を理解し苦痛緩和法の基本について理解する。 3. 死を迎える患者へのスピリチュアルケアについて学ぶ。 4. ターミナル期における倫理的課題とケア 5. グリーフワークの必要性を理解し、患者を看取る家族のケアを理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1) 緩和ケアの歴史と理念 2) ターミナル期にある患者のトータルペイン			1	講義
2	1) ターミナル期にある患者の症状マネジメントを支える意義			2	講義
3	1) がん性疼痛を有する患者の症状マネジメント			.2	講義
4	1) ターミナル期にある患者のスピリチュアルケア			3	講義
5	1) 精神症状を有する患者の症状マネジメント			2	講義
6	1) ターミナル期にある家族のスピリチュアルケア			3	講義
7	1) ターミナル期における倫理的課題とケア			4	講義
8	1) 患者を看取る家族のケア 2) エンゼルメイクの意義			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		必要に応じて資料を配布する			
【評価方法】 定期試験 (100%)			【履修上の留意点】 文献を活用し、自己に知識を深めること。		